

いい人生を送りた



「子育てが終わったら自分のことを考えたい」

と飯原のみ子さん（立仏・31歳）
今は子育てが生きがいでしょう。子育てがある程度終わる四十代になったら、何か技術を身につけたり、ボランティア活動に携わったりしてみたいです。三十代はだれでもそうだと思いますが、体も動きますし欲張りな時代。私は四十代をより良く生きるための基礎を築きたいと考えています。



「寿学級の仲間と仲よく楽しくやっていたい」

と畑山政雄さん（仲町・74歳）
もう十年近く寿学級に参加しています。寿学級では、皆さんと話をしたり、ゲートボールをしたりして、楽しくやっています。寿学級の行事などいろいろな参加することで毎日が充実しているように感じています。これからも、寿学級の仲間たちと仲よく、楽しくやっていたいと思っています。



「横野昭二さん（善久・63歳）は「絵を描く」と植木いじりが生きがい」と言います

子供のころから絵を描くのが好きでした。今も子供のマンガをまねて描いたり、気に入った絵があると写したりしています。ですが、どうせ描くのならばやっぱり独創的なものを、と思ってこの二月から公民館のイラスト教室に参加してみました。絵を描くことと植木をいじることが今の生きがいです。

1991
3
No.330

くるさき

あなたと町をつなぐ
広報

いね

お聞きします、
生きがいについて



「友だちと元気に楽しむことが生きがいでしょうか」と長谷川美津恵さん（興野）

生きがいといわれても、ふだんこれが生きがいだなんて考えたことがありませんからね。ただ、私と同じか上の年齢の人たちが病気になるのを見てると元気なうちに楽しまなくてはと思います。友だちといっしょに外へ出たり、おいしいものを食べたり、というのが今の生きがいでしょうか。



「余暇より仕事を生きがいにしたいですね」と保刈洋一さん（木場新田・28歳）

生きがいというと、一生涯の目的みたいなものだと思います。それにはやっけていて楽しく長続きできるものでなくてはならないと思います。仕事でも遊びでもそう。余暇よりも仕事でこそ生きがいを感じられるようになりました。ですが、今は農業関係の仕事に就いているので悩んでいるところです。



「仕事以外の人とのつながりを」と手話をしています」と服部のり子さん（寺地団地）

新潟市内で保母の仕事をしているのですが、仕事以外での人とのつながりがほしくて、市内の手話の会に参加しました。その後、黒崎の手話サークル「一歩の会」にも参加。毎月第二、第四火曜の夜七時から中央公民館の和室で例会を開いています。やる気のある方、いっしょにやりませんか。